

11月1日(金) 12:35-14:50

セッションチェアマン： 酒井滋樹(日新イオン機器株)・加藤 千晴(株)村田製作所)

◆ **フュージョンエネルギー実現に向けた学術研究からのアプローチ(仮題)**



核融合科学研究所
フュージョンエネルギー産学連携研究室長
教授
安原 亮

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

◆ **発電をはるかに凌ぐレーザーフュージョンエネルギー開発**



大阪大学
レーザー科学研究所 所長
荣誉教授
兒玉 了祐

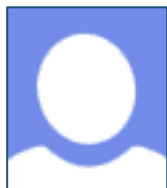
[講演要旨]

2022年、超大型レーザー施設NIFの核融合点火燃焼に繋がった。また、2020年大阪大学では、従来の10倍の効率で核融合プラズマ生成に成功し、2023年には、半導体レーザー励起のメガワット級繰り返しレーザーのモジュールを実現させるなど、フュージョンエネルギー実現へ向け着実に進展している。さらに、高繰り返し化とともに大型システムのスマート化や新たな産業応用などエネルギー開発にとどまらない幅広い技術革新が期待されている。

[講演者プロフィール]

1990年大阪大学大学院工学研究科博士課程修了、博士(工学)。同年英国オックスフォード大学クランドン研究所研究員、1993年大阪大学レーザー核融合研究センター助手、2000年同助教授、2005年同大学工学研究科教授、2017年同大学レーザー科学研究所長兼任、現在に至る。これまで、パワーレーザー開発と応用に関する研究に従事し、米国物理学会、米国原子力学会、米国核融合協会、レーザー学会、応用物理学会、日本学術振興会や国内外財団などの賞を多数受賞し学会フェローを授与されるとともに2023年紫綬褒章を受章。

◆ JT-60SA の概要と今後の計画(仮題)



[講演要旨]

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
那賀フュージョン科学技術研究所
主任技術員
畠山 昭一

[講演者プロフィール]

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【E-1】 大学セッション(無料)マテリアル先端リサーチインフラ

【E-3】 中・韓・印 アジア半導体産業の最前線を追う！